

拠出金名:国際連合大学拠出金(私費留學生育英資金貸与事業費)

国際機関等名	国連大学 (英文名称・略称) United Nations University(UNU)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所管官庁担当局課名	外務省広報文化交流部国際文化協力室、国際協力局国別開発協力第一課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	77,960			円建て	100
平成20年度	86,166			円建て	100
平成19年度	64,712			円建て	100
当該拠出金の目的・用途等	開発途上国出身の私費留學生に対する資金貸与を国連大学を通じて行うもの。				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2009年度決算)	
	国 名	金額 (千円)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 120,135千米ドル 当該年度の支出 156,401千米ドル 次年度への繰越 ▲36,266千米ドル	
1位	日本	77,960	100.0	会計検査機関名	
2位				国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors)	
3位				(現在の構成員の出身国:英、中、南ア)	
4位					
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>国連大学は我が国に本部を擁する唯一の国連機関。平成19年9月に就任した現学長の下で、日本との繋がりを重視し、日本が重視する平和構築やアフリカ支援等の分野において日本政府と連携して国際的な発信を行っているほか、我が国の大学・研究機関、地方自治体、民間企業と積極的に連携しながら事業の展開に努めている。平成22年9月に開始の大学院プログラムにおいて、国内の有力大学との連携を準備中であり、日本人学生にとっての国際機関職員へのキャリアパスにつながると期待される。</p> <p>国連機関としての外部監査、内部監査を実施しており、右結果を反映した改革を行っている。平成19年には官房機能の一部をマレーシアに移転し、大幅な経費削減を実現。</p> <p>なお、私費留學生事業は平成25年度に終了する予定である。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上	6 人 うち 1 人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	111 人 5.4 %	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
副学長		武内和彦		東京大学教授との兼任 (平成20年7月着任)	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
空席ポストへの邦人採用、幹部を含む邦人職員のランクアップを支援する。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。